

第2回三次市公共施設等総合管理計画検討委員会 会議要旨

平成27年9月30日（水）

10時00分から11時40分

三次市役所6階602会議室

【出席】

●委員

塚本委員長，細川副委員長，木建委員，高味委員，大田委員，山野内委員

●三次市

財務部長：部谷，財産管理課長：中原，係長：渡部，主任：奥野

●計画策定支援業務受託業者：(株)パスコ（渡辺・福積・大野・西江・廣田）

1 開 会

2 議 事

(1) 三次市公共施設等総合管理計画（白書編）について

概要について事務局から説明。

委員長

市民文化系施設で多いものは何か。

市

数でいえば，集会所，コミュニティセンターです。

委員長

学校についてはどうか。

市

学校については，昭和50年代に建設されたものが多くなっています。

(2) 公共施設に関する市民アンケート調査結果報告書について

概要について事務局から説明。

委員

市民の生の声は大切にしないといけない。私は生まれてから市の中心

部に住んでいるため周辺部のことがわからない。中心部ではある程度便利である。その尺度で周辺のことを議論してもいいのか。

近年河川氾濫や広島での土砂災害もあり，三次市でも水害により立派な堤防もできたが，向江田や川立では水没する地域もある。災害が起きないとは限らないので，緊急の時こそ公共施設がしっかりしていないといけない。

バランスが難しいと思うが，合併したため同じ施設があるので，これは三次，これは布野といったように，すみ分けをしていかないといけない。当然必要なものは残さないといけない。

アンケートに「税金が不公平である」という意見もあった。極端な話ではあるが，便利な所の方は市民税が高くてもいいと思う。例えば周辺に住めば市民税が安い，安い方がいい人はそこに住めばいいし，人が増えれば，その施設も有効活用できるかも知れない。

商工業的に考えると，例えば倉庫が欲しくて建てるまでもないが適当なものがないとか，困っておられる方はあると思う。まちづくりセンターも空いており，もったいない。そこを仮事務所や倉庫等で貸し出すなど，色々な方法でお金を得て，それを修繕にまわすという方法も考えられる。

委員

指定管理を受けているが，利用の少ない施設がある。自由回答に「利用者が少ないという理由だけで施設を閉鎖すべきではない」という意見があるが，指定管理者としては，利用者が少なく施設のあり方についていかなものかと思いついたものもある。指定管理者へのアンケートも有効ではないかと思う。

委員

一口に公共施設と言っても色々な種類があり，数も多いことがあらためてわかった。これから建替時期が集中してくるという特徴もあり，改修や更新には相当の費用も必要で，これから施設の活用も含めて検討が必要であると痛感した。

委員

アンケートも全て読ませていただいた。ここにほとんど問題点が出ており、大切な意見である。

公共施設の利用について、もっと利用が高められるやり方があると思う。人の問題がアンケートにもあるが、市がリーダーシップをとり公共施設へ勤めている職員の教育が必要である。例えば、賃金の半分は基本給、半分は歩合制という形態にするなど、意欲を引き出す仕組みも必要ではないか。スポーツ関係のNPOでは、草刈などをして収入を得て運営している。追い詰められてやらないと利用が高まらないのではないか。

委員

公共施設は、なくてはならないものもあり、単に利用率だけで廃止や統合を決めてしまうのは乱暴である。個々の建物で方針を出す必要がある。アンケート結果では、7割の方が「公共施設を計画的に減らしていく」となっており、総論では皆さん賛成だが、個々の施設を壊していくことになれば反対も出てくると思う。将来の費用を同じ水準で負担していくことはできないと思うので、そのあたりをはっきり示す必要がある。また「借りにくい施設がある」という意見もあったが、単に「施設を使ってください」というだけではなく、交通手段を検討するなどし、建物は減ったが皆さんへのサービス水準は下がらないということを示す必要もあるのではないか。

(3) 公共施設の管理に関する基本方針の検討（案）について

概要について事務局から説明。

委員

基本方針については、全て網羅されており、よく整理されている。

県内には、1学年1クラスの学校が11校あり、北海道に続き全国的にはワースト2である。1学年1クラスの学校について、どこまで税金を投入していくのかという議論がある反面、なくすと色々なことがおきるのでは何とか維持したいということで、方針を3つ立てられた。

市の検討案に、施設の削減に関する数字が出ているが、「エイヤー」とやるのか、市税を突っ込むことを市民がどこまで容認するのか、市当局としても厳しい話を聞きながら進めていくことになるのではないかと。本当にこのようにすると、必要なものを残すのは当然だが、統廃合して一つにする場合に、市民の理解と協力が得られないと、絵に描いた餅になり、いつまでたっても現状が改善できないのではないかと。そのあたりの覚悟と情熱がどうなのか危惧する。

委員

15年後に5万人堅持というところに興味がある。協力をしていきたい。

委員

アンケートでも「これ以上施設を増やす必要はない」という意見も多いが、実際どの施設から減らしていくのか、本当になくしていいのか、維持していくのかといった選択について、市民にわかりやすく説明されないと反発も大きいのではないかと。施設削減の数値目標について、人口や財政面から示されているが、どの方向で考えていくのか注目すべきところである。一律に同じように減らしていく、また維持・更新していくことも難しい。何か基準になるものがあればいい。

委員長

施設の削減の数値目標が3つ出ているが、これはどのように収斂されていくのか。

市

そもそもこの計画をなぜ立てるのかということだが、次の世代のためにも、今我々が責任をもって取り組まなければいけない。

市の建物を建てる時は、国の補助金や交付税措置のある起債により市の負担は少ない。しかし、建物を管理するためには職員配置も必要で、電気代など含めて2億円程度の施設では年間約700万円程度必要となる。10年位経つと建物の償却は終わり、維持管理費だけが残る。10年以上経つとエアコンが壊れたり雨漏りし、また水道なども傷み、これらの修繕に数百万円かかる。概ね30年経つと大規模改修が必要と言われている。それから20年から30年経つと大規模改修では無理になる。これから数

年は何とかなるが，10年・20年後は間違いなく施設の更新が大きな問題となる。今どのようにするか決めることが我々の責任である。これから市としては定住対策等にお金をかけていきたい。何を減らすかという場合には，やはり施設を減らしていかななくてはいけない。このような状況をきちんと説明していかないといけない。総論では賛成だが各論では反対も出る。計画では，何らかの目標値・指標を決めておかないと曖昧になる。

委員

民間企業のオーナーは，最後まで責任を取らなければいけないが，市長や議員，市役所職員はあるところでいなくなる。だからきちんとすべきである。高度成長期には仕事をすればどんどん儲かっていたが，今は，やること，やらなくてもいいことをよく考えてなくてはいけない。選択しなければならない時代になったことを市民に説明しなくてはいけない。緊急性，重要性も考えながらバランスよく，基準も作って，利用率が低かったら閉鎖せざるを得ない。コンビニでも売れ筋を並べないと売れない，売れないものは撤去する。民間での設備投資も優先順位を考える。これからは行政も経営感覚が必要だ。また，減価償却という考え方も入れてほしい。

委員長

まさに民間の発想である。コストに関する課題が記載されているが，一般論ではなく，三次市がどのような状況であるかを踏まえて，このくらいのことをやらなくてはいけないといったことを入れていくべきではないか。

委員

この計画を実行していくことは大変な作業であると想像できる。自分の経験から，コスト面でメンテナンスをしっかりとやれば，長く使うことができる実感している。細かい話ではあるが検討する必要があるのではないか。

委員

目標数値については実現可能性も考えてほしい。20年で10万㎡減ら

すには単純に1年で5,000 m²の削減が必要となり、十日市中学校(5,133 m²)と同規模の施設を20年間毎年壊していくことになる。このくらいのことをやっていかなければならないということを、市民に分かりやすく伝えていく必要がある。

委員長

年間5,000 m²が何かという議論はまだされていない。減らしていく施設が何かという議論はされていないが、行政としてなくしてはならない施設やサービス提供施設がある。行政の責任としてどこまでサービスを提供するかということがあり、簡単に減らせばいいということにはならない。

また、削減する20%とか40%が面積なのか、サービスの質なのか色々な状況がある。そのあたりが曖昧であり、意見が出にくかったのではないかな。

行政の視点だけで計画を作れば杓子定規なものになるが、民間の視点など、この検討委員会の意見を取り入れ、税金をかけない施設の維持管理ができるのであれば、全部が全部つぶすという議論ではないと思う。

今後、施設の種類の議論になる時には、市として公共施設をどのようなサービスのためにどのように使っていくから必要であるということが出発点になると思う。そのような視点で作業をすすめてもらいたい。

委員

今日は、基本方針案について意見を申し上げなければいけない立場であると思うが、方針としては漏れもなく3点でまとめられており、よくできていると思う。

利用者は数値化できるが、重要度や緊急度、必要度など、計れないものをどうやって計るのか、どのように数値化して優先順位や、統廃合、廃止を決め、どのように進めていくのか。

さきほどの人口ビジョンについては、委員として会議に出席していたが、どのように増やしていくのかと思って聞いていた。単に数値目標で終わってはいけない。無理矢理ではなく、説得力のある数字、設定にしていいただいたら現実的なものとなる。

委員長

施設は人口とは違い、メンテナンスすればそれだけお金が減る，官民協働など，少しずつ積み上げていくことが可能な領域である。

市

さきほど行政は減価償却の考え方が欠落しているということがあったが，中央病院は公営企業会計できちんと減価償却しているので，ある意味この計画から除外してもいいのかも知れない。

さまざまな公共施設があり，どのような目標値にしたとしても，お金をかけても維持するもの，そうでないものなど，目的や性質によって方針を決めていかないといけない。

委員長

逆に，それを踏まえて目標値を設定してもいいかも知れない。

それでは今回はこのあたりまでとし，次回以降も引き続きよろしくお願ひしたい。

(4) その他

市

次回検討委員会は 11 月頃を予定している。

3 その他

特になし。

4 閉 会